

**高砂市第3期地域福祉計画
策定に向けた地区懇談会（第3回目）
結果報告書**

2017.10

高砂市福祉部・高砂市社会福祉協議会

目 次

地区懇談会（第3回目）の概要

1. 目 的.....	1
2. 参加者.....	1
3. 開催日時.....	1
4. 開催内容.....	1
5. 開催状況.....	2

第3回全体のまとめ

取り上げた解決策別と主な具体策.....	3
各地区で取り上げた解決策と主な具体策（自助）....	7
各地区で取り上げた解決策と主な具体策（共助）....	8
各地区で取り上げた解決策と主な具体策（公助）....	10

地区毎のまとめ

1. 高砂地区.....	11
2. 荒井地区.....	14
3. 伊保地区.....	16
4. 中筋地区.....	17
5. 曾根地区.....	18
6. 米田地区.....	20
7. 阿弥陀地区.....	23
8. 北浜地区.....	27

地区懇談会（第3回目）の概要

1. 目的

地域福祉活動の担い手が地域の「課題」を出し合い、その「解決策」を検討した、第1回・第2回の地区懇談会を踏まえ、「解決策」を選び、より具体的な提案を出し合う。



- ① 検討結果を第3期地域福祉計画策定の基礎資料とする。
- ② 地域での話し合いの場（生活支援体制整備協議会）の材料とする。

2. 参加者

各地区（8地区）の地域福祉活動の担い手（10～30人程度）

3. 開催日時

平成29年7月下旬～8月下旬 各回とも13:30～15:30

4. 開催内容

各地区（8地区）×1回 実施

第 3 回	「解決策」として整理された項目から具体策を検討
	1. 市民アンケート結果の説明【オープニング】
	2. 地区別第1回、第2回の全体のまとめについて説明【インプット】
	3. グループに分かれて、解決策・アイデアのカテゴリからテーマを選んで具体策を出し合う（グループワーク）
	（1）できるだけ多くの具体策を出し合い模造紙に貼り出す【課題の発散】
	（2）出された具体策をグループ化し、表題を付ける【課題の収束】
4. 各グループ代表者がグループワークの結果を発表→全員で共有【課題の共有】	
5. 第3回懇談会の講評【まとめ】	

■各回とも2時間程度。

■グループワークについて

参加者が5～6人のグループに分かれてブレインストーミングを行い、KJ法を活用して自ら出された意見を整理します。各グループには社協職員・市職員が司会進行役（ファシリテータ）として参加した。

5. 開催状況

地 区	第3回（平成29年度）	
	開催日	参加者数
高 砂	8月4日（金）	24
荒 井	7月26日（水）	26
伊 保	7月25日（火）	14
中 筋	8月3日（木）	11
曾 根	8月1日（火）	16
米 田	8月2日（水）	29
阿弥陀	8月9日（水）	31
北 浜	8月29日（火）	20
合 計		171

市全体のまとめ（第3回）

取り上げた解決策別と主な具体策

取り上げた解決策	地区数	具体策		
		自助	共助	公助
地域における関係・つきあいの再構築	6	<ul style="list-style-type: none"> ●あいさつに心がける ●声掛け運動 ●回覧板を持って行く時に声掛け ●子、孫を通じて町のイベントに参加 ●あいさつをする ●ゴミ出しの時の声掛け ●回覧板を廻す時に声を掛け ●地域活動に参加しコミュニケーション ●不動産屋、家主へ自治会加入依頼 ●声かけ運動 ●あいさつ運動放送で流す ●近所で声かけあいさつ ●いきいき百歳や転倒防止体操に参加 ●笑顔であいさつ ●子どもからあいさつの習慣付 ●自治会等行事に積極的に参加 ●情報を自分で集める ●毎朝の声かけ ●ラジオ体操に参加する ●なかよし会に参加する 	<ul style="list-style-type: none"> ●高齢者世帯のゴミ出し ●地域団体の新聞を作る ●自治会ツイッターで情報共有 ●自治会などの行事の活性化 ●自治会館でオープンカフェ ●各年代の人が話し合える場 ●子供会と老人会の行事の連携 ●近所のあいさつ運動 ●異世代の交流会 ●異年齢サロンの開催 ●自治会単位の縁日の開催 ●高校生・大学生の活躍の場 ●中高齢者と子育て世代の交流 ●子育て不安軽減昔遊びが楽しさ ●1人1つは役員を経験する ●三世代交流 ●いきいきサロン ●曾根の古民家で落語会 ●子ども食堂を通じ世代間交流 ●空きスペースにベンチを作る ●曾根町あいさつ運動 ●地域活動の広報 ●各種団体の集りを多くする 情報交換 ●活動内容を住民の方に説明 ●回覧板で活動内容の紹介 ●地域内であいさつ運動 ●相談できる場所をつくる ●コミュニティカフェを開設 ●三世代合同の行事 ●活動内容を住民の方に説明 ●回覧板で活動内容の紹介 ●地域内であいさつ運動 ●掲示板を増やす ●大規模なイベントを行うと若い世帯も集まる ●魅力ある計画、アピール ●相談できる場所をつくる ●コミュニティカフェを開設 ●三世代合同の行事 	<ul style="list-style-type: none"> ●じょうとんバスの65歳以上無料化 ●自治会のバス旅行に補助金 ●マンションの入居者への周知 ●企業との協力パイプを強く ●ボランティア保険など ●自治会の負担軽減 ●施設の会場を使う ●送迎バスの利用（企業等） ●手作りケーキ喫茶をする ●野菜市をする ●まちの保健室のような拠点 ●“健康”に関する情報を発信 ●高砂球場と陸上競技場の充実 ●人の集まる場に専門職に来てもらう

取り上げた解決策	地区数	具体策		
		自助	共助	公助
担い手の負担軽減・支援の充実と新たな担い手の確保・育成	6	<ul style="list-style-type: none"> ●マンションにも自治会活動をすすめる ●子ども～大学生含めて参加 ●後任育成 重複して指導 ●担い手を確保 ●楽しそうな表情 ●自治会役員を積極的に受ける ●老人会の掃除に積極的に参加 ●やり方を変えて広く呼び掛け ●ゆるーい枠での参加方法 ●楽しく活動を伝える ●高齢者介護に関する育成 ●趣味の輪を広げる ●男性の方もご近所付き合いを ●まず挨拶から ●外へ出て道路の掃除 ●ゴミ出し時に近所とあいさつ ●高齢者のゴミ出しの手伝い ●一人暮らし高齢者への声かけ ●子供会、老人会等の行事に積極的に参加する 	<ul style="list-style-type: none"> ●隣保単位を小さくして活動の活性化 ●単位自治会の広域化 ●自治会活動にここポイント ●行動書を作成して誰でも活動 ●イベント毎に役員を募集 ●各種団体の会合ができない ●元気な高齢者で情報交換 ●役員を当番制 ●自治会の役員から後任を選ぶ ●協力委員に手伝ってもらう ●1地域に男・女の民生委員 ●各種団体から1名以上を確保 ●要支援者名簿自治会長に公表 ●一人暮らしの見守りを決める ●自治会などの合同会 ●地域で支援者間が情報共有する場 ●ひとり暮らしは年3回程度訪問で多少様子がわかる ●定期的に声かけする ●団塊世代高齢者介護の勉強会 ●団塊の世代対象の飲み会開催 ●ボランティア活動への補助等が必要 ●留守の時の情報提供対策 ●いきいき百歳体操で情報を流す ●中・高生の集まれる場 ●人材募集のPRをする ●各人の特徴を把握する ●新住民が地域を知るため自治会回覧等作成 ●民生委員の活動内容を紹介 ●地域でのイベント企画 ●マニュアル作り役割の簡素化 ●若い方々に参加の声かけ ●みんなが分担して業務する ●老人会、婦人会、子供会が集まる会 ●行事や役員に接する機会を持つ ●全員が何らかの役割を持つ 	<ul style="list-style-type: none"> ●市から正確な資料を ●民生委員を増やして欲しい ●協力員はいらない ●専門職の同行を ●ボランティアポイント制度の導入 ●老人会加入促進広報ができないか ●行政で老人会のパソコン教室 ●リーダー作りに取り組む指導 ●担い手づくりの楽しい講座 ●事業所と民生委員の交流会 ●いきいき百歳体操の世話役に「ポイント」
買い物弱者への支援	3	<ul style="list-style-type: none"> ●宅配サービスの利用 ●コンビニから届けてもらう ●コープの集団購入 ●タブレットによる購入 ●コープなど宅配、共同購入 ●スーパーの買物配送 ●ネット販売 ●買い物に出かけときに声掛け ●買い物に行く時1戸担当して買い物を聞く ●ネットの利用 ●友人・知人が交通面支援 	<ul style="list-style-type: none"> ●買い物に出でるとき声の掛け ●コープの個配サポーター ●車の運転できる人が行きたい人を乗せる ●買い物に特化したアンケート ●企業バスで買い物ツアー ●移動販売が定期的に ●近所でまとめて買い物代行 ●コープに移動販売依頼 ●ボランティアによる手助け ●ネットでの買い物支援 ●買い物グループを作る ●宅配を利用 ●自身で買物に行けないことを公開 ●週一回の買い物グループ ●週2回程度のボランティア便 ●買い物弱者の情報をつかむ ●福祉活動への参加 ●地域での活動参加 	<ul style="list-style-type: none"> ●施設の車でコンビニへ送迎車 ●ボランティア運営で店を作る ●買い物バスを運行する ●市で運転手を雇う ●狭い範囲でコミュニティバス運用 ●行政による移動販売車の運営 ●社協による買物支援 ●各店舗の宅配一覧を作る ●介護保険サービスが受けられるように ●乗合いタクシーネットで予約 ●じょうとんバス少ない ●宅配

取り上げた解決策	地区数	具体策		
		自助	共助	公助
地域の各種団体間の連携の促進	2	<ul style="list-style-type: none"> ●各種団体役員が福祉の勉強 ●隣人への声掛け ●地域の集会へ参加 ●積極的なあいさつ運動 ●見守りを兼ねた犬の散歩やウォーキング ●自治会行事に参加する 	<ul style="list-style-type: none"> ●各種団体でできる協議を実施 ●自治会等で意見交換の場 ●各種団体年間行事計画の作成 ●三世交代事業を増やす ●公園の清掃 ●レクリエーションの施設充実 ●町内全体での見守り ●いきいき百歳体操後、話の場 ●各団体間の話し合いの場 ●団体が集まる場（ラジオ体操） ●町内会での運動会やお花見会、夏祭り ●小さな単位で一息カフェ ●民生委員の役割分かるように 	<ul style="list-style-type: none"> ●災害時の避難場所が少ない ●無料で使える場所の提供 ●公民館等での町内インフォメーションコーナーの設置
(情報を得にくい人) 支援が必要な人への必要な情報の効果的な発信	2	<ul style="list-style-type: none"> ●みんなで行事に参加 ●自分で情報をオープンにする ●家族を大切に ●要支援の在宅表示 ●回覧板配布班長からの声かけ 	<ul style="list-style-type: none"> ●声掛けをして出てきてもらう ●民生・福祉委員が声掛け ●隣保の付き合いの復活 ●要支援者の在宅表示 ●自転車・手押し車等を注視 ●ポストの投函状況を見る ●避難場所を各自が認識する ●地域伝言板 ●面談して説明するを大事に ●行事計画書を各戸への配布 ●民生委員への協力を行う ●隣保長会議の資料全戸に配布 	<ul style="list-style-type: none"> ●見てもらえ読んでもらえる工夫が必要
支援が必要な人の情報の把握・共有に向けた仕組みづくり（コミュニケーションの促進）	2	<ul style="list-style-type: none"> ●隣同士の声かけ あいさつ ●回覧板等手渡しして情報交換 ●支援必要の人に積極的に介入 ●家族からの発信 ●あれ？と思ったら声をかけ 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域の人が集まる拠点づくり ●住民が顔合わせするイベント ●隣保単位のお節介活動 ●各種団体の情報交換の場 ●情報管理する団体を作る ●民生委員と事業所の交流会 ●手伝える事はないか声かける 	<ul style="list-style-type: none"> ●SOSネットワークを早急に ●地域の方と施設の防災訓練 ●防災無線でラジオ体操を全市 ●地域清掃でにこにこポイント ●地域団体と定期的に話す機会 ●情報がオープンにしやすい環境 ●情報をオープンにする仕組み
参加者の偏りの解消と新規参加者の獲得	1		<ul style="list-style-type: none"> ●老人会の活発になる事業企画 ●ポイント制導入 北浜地区オリジナル ●行事に参加のアンケート ●行事の内容のピーアール ●隣保内での交流の場 ●問題共有の場 	<ul style="list-style-type: none"> ●市、社協の資料（道具類）を利用・活用して参加者を増やす ●警察の町人への声かけ
交通手段・移動支援の確保	1	<ul style="list-style-type: none"> ●無料の送迎ボランティア調査 ●家族に外出支援の協力を依頼 ●ボランティアに依頼する ●買物など乗り合い声かけ合う 	<ul style="list-style-type: none"> ●乗り合いタクシーを企画 ●福祉車両の送迎サービス ●送迎ボランティアを登録制 ●近所の人を搬送する ●送迎時の事故補償 ●ボランティアできる住民把握 	<ul style="list-style-type: none"> ●バスのルート見直し増便 ●バスを小型化する ●送迎サービスの費用補助 ●タクシー券を発券
地域住民に地域活動や担い手の役割・重要性を周知・啓発	1		<ul style="list-style-type: none"> ●ふれあい喫茶 指名して ●町内の福祉部活動を活発に ●福祉部の案内を分かりやすく ●行事を高齢者主体で隣保単位 ●行事内容にあった方を町内で探す ●伝統行事に若者や新住民が参加しやすい組織づくり 	

取り上げた解決策	地区数	具体策		
		自助	共助	公助
身近で交流できる場（拠点）づくり	1	<ul style="list-style-type: none"> ●近所の人を口コミで誘う ●声掛け ●ラジオ体操を活用 ●自分の得意なことを地域役員に提供 	<ul style="list-style-type: none"> ●地区で喫茶を開く ●いきいき百歳体操の活用 ●隣保毎に定期的に集り ●週1回会館開放日を作る ●空いている建物で北浜喫茶を開催 ●三世代交流 ●内容の工夫を世話人が話し合う 	<ul style="list-style-type: none"> ●助成金（社協） ●講師の派遣
孤立防止に向けた社会参加の促進	1	<ul style="list-style-type: none"> ●自治会の年間行事に参加 ●市老連の行事に参加 ●ラジオ体操 ●いろんな世代で参加 	<ul style="list-style-type: none"> ●1軒づつ福祉委員、民生委員が声掛け ●子ども高齢者参加のイベント ●子ども食堂の開催 ●夏に小学生いきいき百歳参加 ●声かけ合ってサロンに参加 ●高齢者サロン 	<ul style="list-style-type: none"> ●認知症カフェ地域に知ってもらう ●地域住民訪問事業を行う ●福祉事業所で民との交流事業
災害時対応の充実	1	<ul style="list-style-type: none"> ●避難場所を調べる ●ハザードマップを活用する ●近所に避難場所を知らせる ●自分の情報を伝える 	<ul style="list-style-type: none"> ●要援護者の避難の手助け ●災害対策の情報交換 ●災害時援助の必要な人把握 ●避難経路を市と自治会と一緒に歩く ●危険場所を知る ●高齢者に若手ボランティアを決める 	<ul style="list-style-type: none"> ●避難場所に福祉スペース
障がい者との関わりの拡充	1	<ul style="list-style-type: none"> ●まず、知ることから ●口コミで拡げる・声かけを！ 	<ul style="list-style-type: none"> ●ヘルプカードの理解を広める ●障がい者団体の集まりに参加しやすい仕組みづくり ●地域にヘルプカードの説明を貼る ●小学校や公民館で話し合いの機会を ●地域の集まりで障がい者の方と話す機会を 	<ul style="list-style-type: none"> ●広報や新聞で

全体のまとめ地区別（第3回）

第3回各地区で取り上げた解決策と主な具体策（自助）

	高砂	荒井	伊保	中筋	曾根	米田	阿弥陀	北浜
1	地域における関係・つきあいの再構築	地域における関係・つきあいの再構築	災害時対応の充実	担い手の負担軽減・支援の充実と新たな担い手の確保・育成	地域における関係・つきあいの再構築	支援が必要な人の情報の把握・共有に向けた仕組みづくり	担い手の負担軽減・支援の充実と新たな担い手の確保・育成	身近で交流できる場（拠点）づくり
具体策	<ul style="list-style-type: none"> ●あいさつに心がける ●声掛け運動 ●回覧板を持って行く時に声掛け ●子、孫を通じて町のイベントに参加 	<ul style="list-style-type: none"> ●あいさつをする ●ゴミ出しの時の声掛け ●回覧板を廻す時に声を掛け ●地域活動に参加しコミュニケーション 	<ul style="list-style-type: none"> ●避難場所を調べる ●ハザードマップを活用する ●近所に避難場所を知らせる ●自分の情報を伝える 	<ul style="list-style-type: none"> ●自治会役員を積極的に受ける ●老人会の掃除に積極的に参加 ●やり方を変えて広く呼び掛け 	<ul style="list-style-type: none"> ●いきいき百歳や転倒防止体操に参加 	<ul style="list-style-type: none"> ●隣同士の声かけ あいさつ ●回覧板等手渡しして情報交換 ●支援が必要な人に積極的に介入 ●家族からの発信 	<ul style="list-style-type: none"> ●ゴミ出し時に近所とあいさつ ●高齢者のゴミ出しの手伝い ●一人暮らし高齢者への声かけ ●子供会、老人会等の行事に積極的に参加する 	<ul style="list-style-type: none"> ●近所の人を口コミで誘う ●声掛け ●ラジオ体操を活用 ●自分の得意なことを地域役員に提供
2	買い物弱者への支援	買い物弱者への支援	担い手の負担軽減・支援の充実と新たな担い手の確保・育成	孤立防止に向けた社会参加の促進	地域住民に地域活動や担い手の役割・重要性を周知・啓発	地域における関係・つきあいの再構築	交通手段・移動支援の確保	買い物弱者への支援
具体策	<ul style="list-style-type: none"> ●宅配サービスの利用 ●コンビニから届けてもらう ●コープの集団購入 ●タブレットによる購入 	<ul style="list-style-type: none"> ●コープなど宅配、共同購入 ●スーパーの買物配送 ●ネット販売 ●買い物に出かけときに声掛け 	<ul style="list-style-type: none"> ●子ども～大学生含めて参加 ●後任育成 重複して指導 ●担い手を確保 ●楽しそうな表情 	<ul style="list-style-type: none"> ●自治会の年間行事に参加 ●市老連の行事に参加 ●ラジオ体操 ●いろんな世代で参加 	/	<ul style="list-style-type: none"> ●笑顔であいさつ ●子どもからあいさつの習慣付 ●自治会等行事に積極的に参加 ●情報を自分で集める 	<ul style="list-style-type: none"> ●無料の送迎ボランティア調査 ●家族に外出支援の協力を依頼 ●ボランティアに依頼する ●買物など乗り合い声かけ合う 	<ul style="list-style-type: none"> ●買い物に行く時1戸担当して買い物を聞く ●ネットの利用 ●友人・知人が交通面支援
3	担い手の負担軽減		支援が必要な人への必要な情報の効果的な発信	地域における関係・つきあいの再構築	地域の各種団体間の連携の促進	担い手の負担軽減・支援の充実と新たな担い手の確保・育成	地域における関係・つきあいの再構築および支援者と支援が必要な人のコミュニケーションの促進	参加者の偏りの解消と新規参加者の獲得
具体策	<ul style="list-style-type: none"> ●マンションにも自治会活動をすすめる 		<ul style="list-style-type: none"> ●みんなで行事に参加 ●自分で情報をオープンにする ●家族を大切にする ●要支援の在宅表示 	<ul style="list-style-type: none"> ●不動産屋、家主へ自治会加入依頼 ●声かけ運動 ●あいさつ運動放送で流す ●近所で声かけあいさつ 	<ul style="list-style-type: none"> ●各種団体役員が福祉の勉強 ●隣人への声掛け ●地域の集会へ参加 	<ul style="list-style-type: none"> ●趣味の輪を広げる ●男性の方もご近所付き合いを ●まず挨拶から ●外へ出て道路の掃除 	<ul style="list-style-type: none"> ●毎朝の声かけ ●ラジオ体操に参加する ●なかよし会に参加する ●あれ？と思ったら声をかけ 	/
4					情報を得にくい人に配慮した情報発信・情報提供	障がい者との関わりの拡充	地域の各種団体間の連携の促進	
具体策					<ul style="list-style-type: none"> ●回覧板配布班長からの声かけ 	<ul style="list-style-type: none"> ●まず、知ることから ●口コミで拡げる・声かけを！ 	<ul style="list-style-type: none"> ●積極的なあいさつ運動 ●見守りを兼ねた犬の散歩やウォーキング ●自治会行事に参加する 	
5					担い手の負担軽減・支援の充実と新たな担い手の確保・育成			
具体策					<ul style="list-style-type: none"> ●ゆるーい枠での参加方法 ●楽しく活動を伝える ●高齢者介護に関する育成 			

第3回各地区で取り上げた解決策と主な具体策（共助）

	高砂	荒井	伊保	中筋	曾根	米田	阿弥陀	北浜
1	地域における関係・つきあいの再構築	地域における関係・つきあいの再構築	災害時対応の充実	担い手の負担軽減・支援の充実と新たな担い手の確保・育成	地域における関係・つきあいの再構築	支援が必要な人の情報の把握・共有に向けた仕組みづくり	担い手の負担軽減・支援の充実と新たな担い手の確保・育成	身近で交流できる場（拠点）づくり
具体策	<ul style="list-style-type: none"> ●高齢者世帯のゴミ出し ●地域団体の新聞を作る ●自治会ツイッターで情報共有 ●自治会などの行事の活性化 ●自治会館でオープンカフェ ●各年代の人が話し合える場 	<ul style="list-style-type: none"> ●子供会と老人会の行事の連携 ●近所のあいさつ運動 ●異世代の交流会 ●異年齢サロンの開催 ●自治会単位の縁日の開催 ●高校生・大学生の活躍の場 	<ul style="list-style-type: none"> ●要援護者の避難の手助け ●災害対策の情報交換 ●災害時援助の必要な人把握 ●避難経路を市と自治会と一緒に歩く ●危険場所を知る ●高齢者に若手ボランティアを決める 	<ul style="list-style-type: none"> ●要支援者名簿自治会長に公表 ●一人暮らしの見守りを決める ●自治会などの合同会 ●地域で支援者間が情報共有する場 ●ひとり暮らしは年3回程度訪問で多少様子がわかる ●定期的に声かけする 	<ul style="list-style-type: none"> ●曾根の古民家で落語会 ●子ども食堂を通じ世代間交流 ●空きスペースにベンチを作る ●曾根町あいさつ運動 ●地域活動の広報 ●各種団体の集りを多くする 情報交換 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域の人が集まる拠点づくり ●住民が顔合わせするイベント ●隣保単位のお節介活動 ●各種団体の情報交換の場 ●情報管理する団体を作る ●民生委員と事業所の交流会 	<ul style="list-style-type: none"> ●マニュアル作り役割の簡素化 ●若い方々に参加の声かけ ●みんなが分担して業務する ●老人会、婦人会、子供会が集まる会 ●行事や役員に接する機会を持つ ●全員が何らかの役割を持つ 	<ul style="list-style-type: none"> ●地区で喫茶を開く ●いきいき百歳体操の活用 ●隣保毎に定期的に集り ●週1回会館開放日を作る ●空いている建物で北浜喫茶を開催 ●三世代交流 ●内容の工夫を世話人が話し合う
2	買い物弱者への支援	買い物弱者への支援	担い手の負担軽減・支援の充実と新たな担い手の確保・育成	孤立防止に向けた社会参加の促進	地域住民に地域活動や担い手の役割・重要性を周知・啓発	地域における関係・つきあいの再構築	交通手段・移動支援の確保	買い物弱者への支援
具体策	<ul style="list-style-type: none"> ●買い物に出でるとき声の掛け ●コープの個配サポーター ●車の運転できる人が行きたい人を乗せる ●買い物に特化したアンケート ●企業バスで買い物ツアー ●移動販売が定期的に 	<ul style="list-style-type: none"> ●近所でまとめて買い物代行 ●コープに移動販売依頼 ●ボランティアによる手助け ●ネットでの買い物支援 ●買い物グループを作る ●宅配を利用 	<ul style="list-style-type: none"> ●元気な高齢者で情報交換 ●役員を当番制 ●自治会の役員から後任を選ぶ ●協力委員に手伝ってもらう ●地域に男・女の民生委員 ●各種団体から1名以上を確保 	<ul style="list-style-type: none"> ●1軒づつ福祉委員、民生委員が声掛け ●子ども高齢者参加のイベント ●子ども食堂の開催 ●夏に小学生がいきいき百歳体操に参加 ●声かけ合ってサロンに参加 ●高齢者サロン 	<ul style="list-style-type: none"> ●ふれあい喫茶 指名して ●町内の福祉部活動を活発に ●福祉部の案内を分かりやすく ●行事を高齢者主体で隣保単位 ●行事内容にあった方を町内で探す ●伝統行事に若者や新住民が参加しやすい組織づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ●活動内容を住民の方に説明 ●回覧板で活動内容の紹介 ●地域内であいさつ運動 ●相談できる場所をつくる ●コミュニティカフェを開設 ●三世代合同の行事 	<ul style="list-style-type: none"> ●乗り合いタクシーを企画 ●福祉車両の送迎サービス ●送迎ボランティアを登録制 ●近所の人を搬送する ●送迎時の事故補償 ●ボランティアできる住民把握 	<ul style="list-style-type: none"> ●自身で買物に行けないことを公開 ●週一回の買い物グループ ●週2回程度のボランティア便 ●買い物弱者の情報をつかむ ●福祉活動への参加 ●地域での活動参加
3	担い手の負担軽減		支援が必要な人への必要な情報の効果的な発信	地域における関係・つきあいの再構築	地域の各種団体間の連携の促進	担い手の負担軽減・支援の充実と新たな担い手の確保・育成	地域における関係・つきあいの再構築および支援者と支援が必要な人のコミュニケーションの促進	参加者の偏りの解消と新規参加者の獲得
具体策	<ul style="list-style-type: none"> ●隣保単位を小さくして活動の活性化 ●単位自治会の広域化 ●自治会活動にここポイント ●行動書を作成して誰でも活動 ●イベント毎に役員を募集 ●各種団体の会合ができない 		<ul style="list-style-type: none"> ●声掛けをして出てきてもらう ●民生・福祉委員が声掛け ●隣保の付き合いの復活 ●要支援者の在宅表示 ●自転車・手押し車等を注視 ●ポストの投函状況を見る 	<ul style="list-style-type: none"> ●中高齢者と子育て世代の交流 ●子育て不安軽減昔遊びの楽しさ ●1人1つは役員を経験する ●三世代交流 ●いきいきサロン 	<ul style="list-style-type: none"> ●各種団体でできる協議を実施 ●自治会等で意見交換の場 ●各種団体年間行事計画の作成 ●三世代交流事業を増やす ●公園の清掃 ●レクレーションの施設充実 	<ul style="list-style-type: none"> ●中・高生の集まれる場 ●人材募集のPRをする ●各人の特徴を把握する ●新住民が地域を知るため自治会回覧等作成 ●民生委員の活動内容を紹介 ●地域でのイベント企画 	<ul style="list-style-type: none"> ●掲示板を増やす ●大規模なイベントを行うと若い世帯も集まる ●魅力ある計画、アピール ●手伝える事はないか声かける ●茶話会を定期的に開催する ●ラジオ体操開催 	<ul style="list-style-type: none"> ●老人会の活発になる事業企画 ●ポイント制導入 北浜地区オリジナル ●行事に参加のアンケート ●行事の内容のピーアール ●隣保内での交流の場 ●問題共有の場

	高砂	荒井	伊保	中筋	曾根	米田	阿弥陀	北浜
4					情報を得にくい人に配慮した情報発信・情報提供	障がい者との関わりの拡充	地域の各種団体間の連携の促進	
具体策					<ul style="list-style-type: none"> ●避難場所を各自が認識する ●地域伝言板 ●面談して説明するを大事に ●行事計画書を各戸へ配布 ●民生委員への協力を行う ●隣保長会議の資料全戸に配布 	<ul style="list-style-type: none"> ●ヘルプカードの理解を広める ●障がい者団体の集まりに参加しやすい仕組みづくり ●地域にヘルプカードの説明を貼る ●小学校や公民館で話し合いの機会を ●地域の集まりで障がい者の方と話す機会を 	<ul style="list-style-type: none"> ●町内全体での見守りの場 ●いきいき百歳体操後、話の場 ●各団体間の話し合いの場 ●団体が集まる場（ラジオ体操） ●町内会での運動会やお花見会、夏祭り ●小さな単位で一息カフェ ●民生委員の役割分かるように 	
5					担い手の負担軽減・支援の充実と新たな担い手の確保・育成			
具体策					<ul style="list-style-type: none"> ●団塊世代高齢者介護の勉強会 ●団塊の世代対象の飲み会開催 ●ボランティア活動への補助等が必要 ●留守の時の情報提供対策 ●いきいき百歳体操で情報を流す 			

第3回各地区で取り上げた解決策と主な具体策（公助）

	高砂	荒井	伊保	中筋	曾根	米田	阿弥陀	北浜
1	地域における関係・つきあいの再構築	地域における関係・つきあいの再構築	災害時対応の充実	担い手の負担軽減・支援の充実と新たな担い手の確保・育成	地域における関係・つきあいの再構築	支援が必要な人の情報の把握・共有に向けた仕組みづくり	担い手の負担軽減・支援の充実と新たな担い手の確保・育成	身近で交流できる場（拠点）づくり
具体策	<ul style="list-style-type: none"> ●じょうとんバスの65歳以上無料化 ●自治会のバス旅行に補助金 ●マンションの入居者への周知 	<ul style="list-style-type: none"> ●企業との協力パイプを強く ●ボランティア保険など ●自治会の負担軽減 	<ul style="list-style-type: none"> ●避難場所に福祉スペース 	<ul style="list-style-type: none"> ●ボランティアポイント制度の導入 		<ul style="list-style-type: none"> ●SOSネットワークを早急に 	<ul style="list-style-type: none"> ●老人会加入促進広報ができないか ●行政で老人会のパソコン教室 	<ul style="list-style-type: none"> ●助成金（社協） ●講師の派遣 ●町の中心部での交流の場所 ●勉強会の積極的な開催
2	買い物弱者への支援	買い物弱者への支援	担い手の負担軽減・支援の充実と新たな担い手の確保・育成	孤立防止に向けた社会参加の促進	地域住民に地域活動や担い手の役割・重要性を周知・啓発	地域における関係・つきあいの再構築	交通手段・移動支援の確保	買い物弱者への支援
具体策	<ul style="list-style-type: none"> ●施設の車でコンビニへ送迎車 ●ボランティア運営で店を作る ●買い物バスを運行する ●市で運転手を雇う 	<ul style="list-style-type: none"> ●狭い範囲でコミュニティバス運用 ●行政による移動販売車の運営 ●社協による買物支援 ●各店舗の宅配一覧を作る 	<ul style="list-style-type: none"> ●市から正確な資料を ●民生委員を増やして欲しい ●協力員は知らない ●専門職の同行を 	<ul style="list-style-type: none"> ●認知症カフェ地域に知ってもらおう ●地域住民訪問事業を行う ●福祉事業所で民との交流事業 ●「福祉マップ」創り一緒に行う 		<ul style="list-style-type: none"> ●まちの保健室のような拠点 ●“健康”に関する情報を発信 ●高砂球場と陸上競技場の充実 ●人の集まる場に専門職に来てもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ●バスのルート見直し増便 ●バスを小型化する ●送迎サービスの費用補助 ●タクシー券を発券 	<ul style="list-style-type: none"> ●介護保険サービスが受けられるように ●乗合いタクシーネットで予約 ●じょうとんバス少ない ●宅配
3	担い手の負担軽減		支援が必要な人への必要な情報の効果的な発信	地域における関係・つきあいの再構築	地域の各種団体間の連携の促進	担い手の負担軽減・支援の充実と新たな担い手の確保・育成	地域における関係・つきあいの再構築および支援者と支援が必要な人のコミュニケーションの促進	参加者の偏りの解消と新規参加者の獲得
具体策			<ul style="list-style-type: none"> ●情報がオープンにしやすい環境 ●情報をオープンにする仕組み 	<ul style="list-style-type: none"> ●施設の会場を使う ●送迎バスの利用（企業等） ●手作りケーキ喫茶をする ●野菜市をする 	<ul style="list-style-type: none"> ●災害時の避難場所が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ●リーダー作りに取り組み指導 ●担い手づくりの楽しい講座 ●事業所と民生委員の交流会 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域の方と施設の防災訓練 ●防災無線でラジオ体操を全市 ●地域清掃でにこにこポイント ●地域団体と定期的に話す機会 	<ul style="list-style-type: none"> ●市、社協の資料（道具類）を利用・活用して参加者を増やす ●警察の町人への声かけ
4					情報を得にくい人に配慮した情報発信・情報提供	障がい者との関わりの拡充	地域の各種団体間の連携の促進	
具体策					<ul style="list-style-type: none"> ●見てもらえ読んでもらえる工夫が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ●広報や新聞で 	<ul style="list-style-type: none"> ●無料で使える場所の提供 ●公民館等での町内インフォメーションコーナーの設置 	
5					担い手の負担軽減・支援の充実と新たな担い手の確保・育成			
具体策					<ul style="list-style-type: none"> ●いきいき百歳体操の世話役に「ポイント」 			

地区別のまとめ (第3回)

高砂地区 第3回

各グループの検討結果 (抜粋)

※各グループで主な解決策・アイデアのカテゴリの中から2つ以内で具体案を検討

★印は、似た特徴を持つものを集めて分類した見出し 【 】の数字はグループ番号

課題と解決策・アイデアのカテゴリ	具体案		
	自助	共助	公助
1 地域における関係・つきあいの再構築	<p>★あいさつ【1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●まずあいさつに心がける【1】 ●毎日1回声掛け運動【1】 ●気軽に声をかけることが大事【1】 ●他人のことを批判しない【1】 ●あいさつ+何か一言つける【1】 ●知っている人にはあいさつしているが、犬の散歩コースになっていて全員には挨拶出来ない【1】 ●最近男性のごみ出しが増えている。どこの人？わからない。家に入るまでついていくわけにもいかない【1】 ●安否確認「旗？」【1】 <p>★あいさつ・声掛け【2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●あいさつ運動【2】 ●回覧板を持って行く時に声掛けする【2】 <p>★イベント【2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●子、孫を通じて町のイベントに参加してみる【2】 <p>★毎日できる【3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●隣の方とあいさつする【3】 ●近所の方と知り合いに【3】 ●お互いに顔見知り【3】 	<ul style="list-style-type: none"> ●近隣高齢者世帯のゴミ出しをしてあげる【1】 ●<近隣者>一人暮らしへの毎朝一声かけ【1】 ●生垣が道路にはみ出している。選定してあげたい【1】 ●百歳体操はいいらしい。自治会館の中でけが人が出ないようにスロープ下駄箱の転倒防止した手すりをつけた【1】 ●駐車場を活用 契約した(空の近隣用につな〇〇)【1】 ●地域にどんな団体があるのかがわかる新聞を作る・・・誰が？【1】 ●地域の掲示板にたくさんの情報を載せる【1】 ●自治会にツイッターを作り情報共有【1】 ●自治会などの行事の活性化【1】 ●イベントの主催にあたる者が熱心でないと地域の関係は保たれない【1】 ●若者と高齢者の交流の場をつくる【1】 ●コミセンや自治会館を使ってオープンカフェたまり場(高齢者)【1】 ●社協カフェ 帆っとセンター2階で職員が【1】 <p>★イベント【2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●隣近所によるイベントの開催【2】 ●各年代の人が話し合える場をつくる【2】 ●自治会費を年→月にして顔つなぎ【2】 <p>★施設と地域の交流【2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●施設行事に地域の方をご招待する【2】 ●和団話団クラブ 月1回施設を地域の方に開放している【2】 ●人口を増やす【3】 ●近所の顔の見える関係をしっかりつくる【3】 ●自治会行事老人会行事を多くし、1人でも1回でも多く参加により身近感を増やす【3】 <p>★企業の協力【3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●企業にスポンサー依頼【3】 ●企業に参加してもらう【3】 ●自治会行事等の外注化【3】 	<p>★じょうとんバスの無償化【2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●じょうとんバスの空車がよくみられる65歳以上無料化【2】 <p>★付き合いが増える【3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●市役所で地域自治会でのバス旅行に補助金助成金を出して欲しい【3】 ●マンションの治外法権→入居者への周知【3】

課題と解決策・アイデアのカテゴリ		具体案		
		自助	共助	公助
2	買い物弱者への支援	<ul style="list-style-type: none"> ●宅配サービスの利用【1】 ●コンビニから届けてもらう【1】 ★情報収集・情報発信【2】 ●毎週（水）施設にパン屋さんが来ている【2】 ●近所の店の情報を伝える【2】 ●必要な物を聞きに行く【2】 ●何が必要か情報を聞いて集める【2】 ★集団購入【3】 ●コープより週一回10人ほどの買い物を10時に持ってくる。コープの集団購入【3】 ★健康管理【3】 ●一人で歩ける（スーパー内の移動ができるくらい） ●しびれ、痛みあるが動けなくなったら困るので気を付けて動く【3】 ★使いやすいもので【3】 ●タブレットによる購入方法を導入【3】 	<ul style="list-style-type: none"> ●隣保内で声を掛けて買い物支援【1】 ●手がすいている者が買い物に出かけるとき声を掛ける【1】 ●自治会でボランティアを募り買い物を支援する【1】 ●買い物キャラバン隊 隣保で週替わりで当番を決める【1】 ●隣保冷蔵庫を設置して、誰でも使える食材を入れる【1】 ●コープの個配サポーター（小学生）【1】 ●自分の車の空き時間を利用してもらう【2】 ●家の〇〇で買い物に困っている方への声掛けや配慮など【2】 ★調査【2】 ●商売人に出前出店が可能か聞く【2】 ●町内に呼びかけ、車の空き時間を調査【2】 ●買い物に特化したアンケートを実施する【2】 ★連れて行きたい【3】 ●車の運転できる人が買い物に行きたい人を乗せる【3】 ●連れて行ってあげたいが事故を起こしたらどうしよう【3】 ★企業と連携【3】 ●スイミングスクールや教習所のバスを住民に活用【3】 ●企業がバスを出して買い物ツアーができるように【3】 ●買い物は本来楽しいこと【3】 ●自分の目で見て選びたい【3】 ●移動販売が定期的に来てくれる【3】 	<ul style="list-style-type: none"> ●コンビニへの送迎車（施設の余った車で）【1】 ●施設前の移動売店を利用【1】 ●公園の一角にスーパーを作る【1】 ●店を作る（ボランティアで運営）【1】 ●昔のように御用聞きのある店を作る【1】 ★買い物施設の誘致【2】 ●買い物難民になってから早8ヶ月が経ちます。前進が見られない【2】 ●どうしてもスーパーが来てほしい。小さくてもよい【2】 ●生活必需品商店の設置【2】 ●親切にする人・・・ボランティア保険に入る【3】 ●買い物バスを運行する【3】 ●買い物先にバスを走らせる【3】 ★西友の跡地活用を連合自治会から何度も市に訴えている【3】 ●スーパーの誘致【3】 ●使いやすいバスがほしい【3】 ●市で運転手を雇う【3】 ●市役所にタクシーを置く【3】

課題と解決策・アイデアのカテゴリ		具体案		
		自助	共助	公助
3	担い手の負担軽減	<ul style="list-style-type: none"> ●マンションにも自治会活動をすすめる【4】 	<ul style="list-style-type: none"> ●福祉関係者の減少、対象者増→モーニングコール等NPO活用【4】 ★隣保は小さく【4】 <ul style="list-style-type: none"> ●隣保単位の活動の活性化。活動単位を小さくする工夫（10軒単位）【4】 ★地区の統合【4】 <ul style="list-style-type: none"> ●単位自治会の広域化【4】 ●地区を再統合する（数を減らす）【4】 ★活動の対価【4】 <ul style="list-style-type: none"> ●自治会活動をすればここにポイントがたまる【4】 ●役員をすれば税金が安くなる【4】 ●イベント毎に役員を募集する【4】 ●役員に報酬を出す【4】 ●高齢者への見守りの一環として友愛訪問に何かおみやげ（タオル、冷却）【4】 ★役員のなり手をどう育てるか【3】 <ul style="list-style-type: none"> ●役員のなり手がいない【3】 ●若い人の働く場所が高砂以外の地区のため、自治会の活動ができない【3】 ●絆がないから会合が持てない。又世話人になる人がいない【3】 ●各種団体の会合があまりできない【3】 ●活動行動書を作成して誰でも活動できるようにする【3】 ●趣味を通じて仲良くなり段々と世話をしてもらう【3】 	

荒井地区 第3回

各グループの検討結果（抜粋）

※各グループで主な解決策・アイデアのカテゴリの中から2つ以内で具体案を検討

★印は、似た特徴を持つものを集めて分類した見出し 【 】の数字はグループ番号

課題と解決策・アイデアのカテゴリ	具体案		
	自助	共助	公助
1 地域における関係・つきあいの再構築	<ul style="list-style-type: none"> ●地域の人との付き合いを望んでいないのでは？【1】 ★声掛け、見守り、小さな親切【1】 <ul style="list-style-type: none"> ●見かけたらあいさつをする【1】 ●ゴミ出しの時の声掛け【1】 ●回覧板を廻す時に見かけた人に声を掛けていく【1】 ●親子のきずな【2】 ●高・大学生への教育【2】 ●自己中心的な考え行動を考える【5】 ★コミュニケーション【5】 <ul style="list-style-type: none"> ●一声運動（あいさつ）【5】 ●地域活動に参加し（各町行事等）話し、あいさつし、コミュニケーションを図る【5】 	<ul style="list-style-type: none"> ★公園清掃【1】 <ul style="list-style-type: none"> ●公園清掃の参加しやすさ【1】 ●公園の清掃活動その後、お茶会【1】 ★地域行事【1】 <ul style="list-style-type: none"> ●秋祭り、夏祭りへの参加【1】 ●子供会と老人会の行事の連携【1】 ●各年代で集まっているがそれ全体が集えていない。その方法、やり方がわかればやる【2】 ★あいさつ運動【2】 <ul style="list-style-type: none"> ●近所のあいさつ運動【2】 ●日を決めてあいさつ運動をする【2】 ●あいさつ運動【2】 ★世代間の交流【2】 <ul style="list-style-type: none"> ●異世代の交流会【2】 ●福祉のサロンでも来られる人、お世話する人高齢になってきています若い人に関心を持ってもらう【2】 ●これからは若い人に参加して地域の活動を活発化してもらえように参加しやすい雰囲気を作る【2】 ●地域で誰でも参加できるサロンを開催【2】 ●遊びの日をつくる イベント【2】 ●サロンの開催 異年齢層の取り組み【2】 ●いきいきサロンに呼び掛け【2】 ●花見の会に子供会も参加【2】 ●いきいきサロン孫もつれて来てOKなどにする【2】 ●行事の活性化世代間交流（*子どもの多忙さ）【2】 ●高校生・大学生の活躍の場【2】 ●高校生の地域への参加を呼び掛ける【2】 ●場所をつくる。コーヒー飲んだりできる。一般・社会人・高校生の参加【2】 ●自治会単位の縁日の開催【2】 ●ラジオ体操 早朝の活動の復活【2】 ★事業所の協力【2】 <ul style="list-style-type: none"> ●定期的にデイサービスのフロアーを開放体操教室、介護教室など【2】 ●（活動時の）送迎ボランティア【2】 ●登録してイベントの時送迎【2】 ●地区限定したシルバー人材グループを作る【5】 ★見守り【5】 <ul style="list-style-type: none"> ●隣人の新聞等が溜まっていないか確認【5】 ●長期留守宅の見回りをする【5】 ★交流の場作り【5】 <ul style="list-style-type: none"> ●サロン（カフェ）の定期開催【5】 ●赤ちゃんを通じた交流【5】 ●世代を超えての交流の場を作る【5】 	<ul style="list-style-type: none"> ●企業との協力パイプを強くする【2】 ●保育園・小中学校高齢者施設【2】 ●ボランティア保険など【2】 ●自治会の負担軽減【5】

課題と解決策・アイデアのカテゴリ		具体案		
		自助	共助	公助
2	買い物弱者への支援	<p>★声掛け、見守り、小さな親切【1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●買い物で出会ったら荷物を持つか、持ち帰る【1】 <p>★宅配を利用する【3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●コープなど宅配を利用されるとよいかも【3】 ●スーパーで買物を家に届けてもらう【3】 ●宅配を利用する【3】 ●品物を届ける【3】 ●宅配（生協等）の利用活性化【3】 <p>★インターネット活用【3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ネット販売（イオンもしている）【3】 ●インターネット勉強会【3】 ●アマゾン等インターネット販売の活用【3】 <p>★宅配【4】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ネットでの買い物支援【4】 ●宅配の利用【4】 <p>★声掛け【4】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●店に案内する【4】 ●近所で買い物弱者を支援【4】 ●声掛けして買物してあげる【4】 ●買い物に出かけときに声掛けする【4】 <p>★地元商店応援【4】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●売っている商品の紹介や広告【4】 ●地元の生産者への応援を地域で応援【4】 ●配達してくれる店を増やす【4】 <p>★宅配【5】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●生協（コープ）の宅配サービス【5】 ●コンビニの宅配サービス【5】 ●コープの共同購入【5】 ●生協（コープ）のグループ購入【5】 ●宅配 集団の宅配を利用（コープ）【5】 ●日時を合わせて一緒に買い物に行く【5】 ●スーパーの買物依頼を活用【5】 	<p>★コミュニティバス【1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●コミュニティバスの充実、親・子の助けが必要【1】 <p>★近所でできること【1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●近所でまとめて依頼を聞いて買い物代行【1】 <p>★移動販売【1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●コープに依頼【1】 ●移動販売車の定期、定例（例えば第2・4土曜）広場での市場開催【1】 <p>★買い物バス【1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●買い物ツアー【1】 ●買い物バスを出して欲しい【1】 ●月に1回車を出して貰う様にして欲しい。本当に外に出て行って欲しい方を買い物ツアーで外に出して欲しい【1】 ●根気よく声掛け【1】 <p>★アンケート【1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●自治会でアンケート買い物ツアーに参加するか【1】 ●障害を持つ人への優しい対応【3】 <p>★近所の手助け【3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●1人暮らしの食事（お弁当）もすすめている【3】 ●近隣の助けをかりる【3】 ●買い出しを助ける【3】 ●近所のボランティアによる買物への手助け【3】 <p>★移動販売【3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●移動販売を検討【3】 ●コープの移動販売をお願いする【3】 ●NPO法人、個人商店【3】 ●本当に買物弱者かの判断【3】 <p>★地域の活性化【3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●朝ごはん等のイベントを各地で開催する【3】 ●地域商店街の復活【3】 <p>★買い物支援グループ【4】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●買い物グループを作る【4】 ●隣保内で買物の協力をする【4】 ●買い物のホローをできるグループの立ち上げ【4】 ●共同購入【4】 ●ネットでの買い物支援【4】 ●共同購入利用者が品物を個人の家まで届ける【5】 ●情報の聞き取り ・個人からの相談・事業者からの聞き取り【5】 ●品物を選ぶ【5】 ●移動販売【5】 ●老人等に宅配してもらえるものを利用【5】 	<p>★市の補助金等【3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●くるりんバスの様な狭い範囲でのコミュニティバスの運用（行政補助は？）【3】 ●タクシーやバスの利用を考える（買物への〇）【3】 ●行政による移動販売車の運営【3】 <p>★行政支援【3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●シルバー人材センターを活用しての買物支援【3】 ●社協による買物支援【3】 ●地域包括支援センターを活用しての買物支援【3】 <p>★デイサービス等【3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●訪問介護（ヘルパー）の利用【3】 ●デイサービスから買い物の買い出し支援を行う【3】 <p>★商店街の活用【4】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●商店街の充実活用方法空き店舗の活用【4】 ●自治会館で店を開く【4】 <p>★買い物の足の充実【4】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●行政がコミュニティバスを用意する【4】 ●移動販売車【4】 ●宅配サービス等の紹介を行う。相談パンフレット等の配布【5】 ●各店舗の宅配一覧を作る【5】

伊保地区 第3回

各グループの検討結果（抜粋）

※各グループで主な解決策・アイデアのカテゴリの中から2つ以内で具体案を検討

★印は、似た特徴を持つものを集めて分類した見出し 【 】の数字はグループ番号

課題と解決策・アイデアのカテゴリ		具体案		
		自助	共助	公助
1	災害時対応の充実	<ul style="list-style-type: none"> ●避難場所を調べる【1】 ●ハザードマップを活用する【1】 ●災害時、近所に避難場所を知らせる【1】 ●自分のことを発信する【1】 ●自分の心を開いてもらう【1】 ●自分の情報を伝える【1】 	<ul style="list-style-type: none"> ●要援護者の避難の手助け【1】 ●災害対策の情報交換【1】 ●災害時援助の必要な人がいるか、把握しているか【1】 ●災害時には中高生も手伝いが出来る様に学校でマニュアルを作ってもらおう【1】 ●自治会と市との連携【1】 ●避難経路を市と自治会と一緒に歩く【1】 ●危険場所を知る ●関係者との情報交換（病院・ケアマネ・民生委員） ●高齢者が多いから何もできない ●高齢者に対して若手ボランティアを決める 	<ul style="list-style-type: none"> ●高齢者・障がい者が避難場所に避難した時福祉スペースがあるのか【1】
2	担い手の負担軽減・支援の充実と新たな担い手の確保・育成	<ul style="list-style-type: none"> ●子ども～大学生含めて参加する【1】 ●高齢者の活用 見守り、福祉【1】 ●活動をアピール【1】 ●地区でボランティアグループを作る【1】 ★情報発信【3】 <ul style="list-style-type: none"> ●連絡先一覧表配布【3】 ★後任育成【3】 <ul style="list-style-type: none"> ●重複して指導する【3】 ●担い手を確保（交代してから変わる）【3】 ●楽しそうな表情を見せる【3】 	<ul style="list-style-type: none"> ●8月に大学生との関わりの機会を作る（意識づけ）【1】 ●高齢者で元気な人たちが集まって情報交換する【1】 ●隣保の数を減らして見守りを増やす【1】 ●役員を当番制にする【1】 ●担い手の育成として民生委員の予備委員を増やす【1】 ●自治会の役員から後任を選ぶ【1】 ★各種団体の協力【3】 <ul style="list-style-type: none"> ●協力委員さんに手伝ってもらおう（2人→3～4人）【3】 ●1地域に男性・女性の民生委員を設けてほしい【3】 ●隣保内相互確認【3】 ●各種団体から1名以上を確保する【3】 	<ul style="list-style-type: none"> ●市よりの資料が正確でない、もっと正確な資料を【1】 ●民生委員を増やして欲しい【1】 ●協力員は足りない【1】 ●専門職の同行をお願いしたい【3】
3	支援が必要な人への必要な情報の効果的な発信	<ul style="list-style-type: none"> ●助け合う気持ちみんな持っている【2】 ●みんなで行事に参加する【2】 ●見かけたら声を掛ける【2】 ●いろんな所にて話を【2】 ●情報をオープンにする 自分で！【2】 ●個人情報保護が情報を出せない原因である【2】 ●まず第1に両隣の家を確認し合うそれとなく・・・【2】 ●家族を大切に【2】 ●家族葬の廃止【2】 ★自身の情報の発信【3】 <ul style="list-style-type: none"> ●夜間、明かりをつける【3】 ●要支援の在宅表示【3】 ●玄関を少し開けておく【3】 ●声掛けをする【3】 ●支援必要の発信？【3】 	<ul style="list-style-type: none"> ●近隣の信頼関係作り【2】 ●毎月訪問自治会費を集金する【2】 ●声掛けをして出てきてもらう【2】 ●民生・福祉委員が声掛けする【2】 ●隣保の付き合いの復活【2】 ●交流が必要【2】 ●情報がない【2】 ●誰がひとり暮らしかわからない【2】 ●誰が声をかけるか【2】 ●老人会等で活動 参加者は様子がわかるが不参加者不明【3】 ●老人のみの家庭の内部状況不明立入具合？【3】 ★家の状況確認【3】 <ul style="list-style-type: none"> ●要支援者の在宅表示【3】 ●自転車・手押し車等の移動を注視する【3】 ●ポストの投函状況を見る【3】 ●電灯の点灯を把握する【3】 ★直接話す【3】 <ul style="list-style-type: none"> ●ひとり暮らしは年3回程度訪問にて多少様子がわかる【3】 ●定期的に声かけする【3】 	<ul style="list-style-type: none"> ●情報がオープンにしやすい環境を作ることが必要か【2】 ●情報をオープンにする仕組み【2】

中筋地区 第3回

各グループの検討結果（抜粋）

※各グループで主な解決策・アイデアのカテゴリの中から2つ以内で具体案を検討

★印は、似た特徴を持つものを集めて分類した見出し 【 】の数字はグループ番号

課題と解決策・アイデアのカテゴリ	具体案		
	自助	共助	公助
1 担い手の負担軽減・支援の充実と新たな担い手の確保・育成	★積極的に自主的に参加【1】 <ul style="list-style-type: none"> ●自治会役員の仕事を積極的に引き受ける【1】 ●老人会の定例の掃除作業に積極的に参加する（役員の業務を覚える）【1】 ●今までのやり方を変えて広く呼び掛ける【1】 	★見守り隊を作る【1】 <ul style="list-style-type: none"> ●中筋全体を1度全部地区をまとめては難しいので各地区毎に集まる機会を作る【1】 ●高齢者の要支援者の名簿を自治会長に公表する（マップを作り）【1】 ●自治会・福祉委員・民生委員・認知症サポーターの合同会を1回/月程度【1】 ●一人暮らしの人に対する見守り人を決めておく【1】 ★地域と事業所の情報共有【1】 <ul style="list-style-type: none"> ●地域で支援者間が情報共有する場、機会を持つ【1】 ●支援者間の情報共有（個人情報）担当者会議の参加、連絡先の交換【1】 	<ul style="list-style-type: none"> ●ボランティア参加時間を貯金してその分自分が困った時に使える制度の導入【1】
2 孤立防止に向けた社会参加の促進	★みんなで参加【1】 <ul style="list-style-type: none"> ●自治会の年間行事（ふれあい祭、町内大清掃）に参加【1】 ●市老連の行事（歩こう会）に参加する【1】 ●いきいきサロンに参加する【1】 ●自治会・老人会の行事参加に声掛けをする【1】 ★サロン【2】 <ul style="list-style-type: none"> ●いきいき百歳体操への参加 8/1～毎月AM中【2】 ●ラジオ体操【2】 ●（盆踊り）集まるのが楽しい【2】 ●いろんな世代で参加【2】 	★声かけ方法【1】 <ul style="list-style-type: none"> ●行事への参加の声掛け 誘い方（1軒づつ福祉委員、民生委員が声掛け）【1】 ★参加しやすい行事【1】 <ul style="list-style-type: none"> ●いきいき百歳体操時に食事の話や遊びを入れた手指動かしなど脳トレを入れる【1】 ●子どもと高齢者共に参加できるイベントを増やしていく。盆踊りなど【1】 ●子ども食堂の開催 男性も調理が学べる機会になる【1】 ●いきいきサロンの強化（参加者を増やす）【1】 ●夏休みに小学生がいきいき百歳体操参加【1】 ★サロン【2】 <ul style="list-style-type: none"> ●サロンの回数を増やす【2】 ●声かけ合ってサロンに参加【2】 ●高齢者サロン【2】 	★福祉事業所としてできること【1】 <ul style="list-style-type: none"> ●認知症カフェが地域に根付く知ってもらう【1】 ●認知症カフェを誰でも参加できることがわかりやすいものにする（コミュニティカフェ）【1】 ●福祉事業所に地域の人を呼び込むため、先ずは地域住民訪問事業を行う【1】 ●地域の福祉事業所で定期的に「交流事業」（地域住民との）を開催【1】 ●福祉事業所間のネットワークづくりを目的とした「福祉マップ」創りを一緒に行う【1】
3 地域における関係・つきあいの再構築	<ul style="list-style-type: none"> ●新しい家 事前に不動産屋、家主へ自治会へ入ってもらうと伝えている【2】 ★あいさつ運動【2】 <ul style="list-style-type: none"> ●先ず自主的に近隣と関われるよう行動する【2】 ●声かけ運動 10人/day【2】 ●放送で流す「あいさつしましょう」【2】 ●ご近所同士で声かけあいさつをする【2】 	★交流【2】 <ul style="list-style-type: none"> ●核家族化が進む中高齢者と子育て世代との交流【2】 ●子育て不安軽減昔遊びが楽しさ 高齢者はポケ予防【2】 ●子供会・PTA・自治会・老人会等の参加 1人1つは役員を経験する【2】 ●三世代交流【2】 ●ぬくもり会 いきいきサロン【2】 	★地域の施設と協力【2】 <ul style="list-style-type: none"> ●施設の会場を使う（鹿島の郷）【2】 ●送迎バスの利用（企業等）【2】 ●手作りケーキ喫茶をする【2】 ●野菜市をする【2】 ●認知所カフェの参加【2】 ●どこの地区からもカフェの参加OK【2】

曾根地区 第3回

各グループの検討結果（抜粋）

※各グループで主な解決策・アイデアのカテゴリの中から2つ以内で具体案を検討

★印は、似た特徴を持つものを集めて分類した見出し 【 】の数字はグループ番号

課題と解決策・アイデアのカテゴリ		具体案		
		自助	共助	公助
1	地域における関係・つきあいの再構築	<p>★事業所を活用した交流の場【1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●いきいき百歳体操や転倒防止体操に参加する。毎週火曜日 14:30~15:30 500円【1】 	<ul style="list-style-type: none"> ●笑って過ごせる時間曾根の古民家で落語会。そね、comの活用【1】 ★食を通じた多世代交流【1】 <ul style="list-style-type: none"> ●いきいき百歳体操を活用してその後にイベントを行う。体調に関すること体操の後に料理教室、家でもできる勉強、宿題を教えてもらう【1】 ●子ども食堂を通じ世代間交流【1】 ●子ども食堂に参加しています。来年からは曾根地区で開催できる様に老人会の方や子供の両親達も参加して頂けたら交流が盛んに【1】 ●責任の所在や衛生面への不安の問題を解消【1】 ★事業所を活用した交流の場【1】 <ul style="list-style-type: none"> ●障害福祉サービス事業所による「ふれあいサロン」の提供【1】 ●事業所で作る生産品を地域住民に知ってもらい活用してもらう場を作る【1】 ●大森整形の建物を活用【1】 ★空きスペースの活用 交流【3】 <ul style="list-style-type: none"> ●空きスペースにベンチを作る【3】 ●誰でも座れるベンチで話す機会を作る【3】 ●神社、公園、新幹線の下のスペースの活用【3】 ★あいさつ運動 交流【3】 <ul style="list-style-type: none"> ●回覧板で事前に周知【3】 ●曾根町あいさつ運動習慣の実施【3】 ★地域活動の広報【3】 <ul style="list-style-type: none"> ●若い人の参加を[理解]を求める 地域活動の広報【3】 ★地域活動のHPの利用【3】 <ul style="list-style-type: none"> ●各種団体の集りを多くする 情報交換【3】 ●地域でもっと交流する場 会議を持つことが大切!!【3】 	
2	地域住民に地域活動や担い手の役割・重要性を周知・啓発		<ul style="list-style-type: none"> ●ふれあい喫茶 指名して直接参加を求める【1】 ●各町内の福祉部による活動をもっと活発にする【1】 ●福祉部の活動の案内を高齢者に分かりやすく話す【1】 ●行事が高齢者主体になっている隣保単位で行う【1】 ●地域活動をする方を増やす方法行事（イベント）の内容を決めてそれにあつた方を町内で探す又は少しでも協力できる方もとりあえず申込みしてもらう【1】 ●地域の伝統行事に若者や新参者が参加しやすい地域の組織づくり【1】 	

課題と解決策・アイデアのカテゴリ		具体案		
		自助	共助	公助
3	地域の各種団体間の連携の促進	<ul style="list-style-type: none"> ★役員が意識を持つ【2】 <ul style="list-style-type: none"> ●各種団体役員自らが福祉についての勉強を組織として実施する【2】 ★自分だけでなく近隣にも声掛けていく【2】 <ul style="list-style-type: none"> ●隣人への声掛けを行っていく【2】 ●地域の集会へ参加していく【2】 	<ul style="list-style-type: none"> ★各種団体の開催【2】 <ul style="list-style-type: none"> ●各種団体でできる協議を実施【2】 ●曾根町各種団体長会議を現在1回開催されているが2回（6ヶ月に1回）は実施する【2】 ●自治会、福祉部会、老人会、民生委員会で意見交換の場【2】 ●年間行事計画の作成（情報共有）【2】 ●定例的な団体会議の開催（主は自治会）【2】 ●ドットコムを活用【2】 ★行事の充実【2】 <ul style="list-style-type: none"> ●三世交流事業を増やす 自治会、子供会、老人会【2】 ●世代間交流会を作る【2】 ●公園の清掃 自治会、子供会、老人会【2】 ●レクリエーションの施設充実【2】 	<ul style="list-style-type: none"> ●災害時の避難場所が少ない【2】
4	情報を得にくい人に配慮した情報発信・情報提供	<ul style="list-style-type: none"> ★声かけ【2】 <ul style="list-style-type: none"> ●回覧板の配布による班長からの声かけ【2】 	<ul style="list-style-type: none"> ●スーパー職員への働きかけ【2】 ●災害時の避難場所を各自が認識する対策が必要（自治会）【2】 ●地域のコンビニを活用し情報を行っていく【2】 ★声かけ【2】 <ul style="list-style-type: none"> ●地域伝言板【2】 ●面談して説明することを大事にする自治会、民生委員【2】 ●行事計画書を各戸への配布と班長からの参加要請【2】 ●民生委員への協力を行う【2】 ●訪問しても留守の時情報提供ができない対策を考える【2】 ★隣保長【2】 <ul style="list-style-type: none"> ●隣保長が会議を開催1回/3ヶ月【2】 ●隣保長会議の資料 全戸に配布【2】 ★いきいき百歳体操【2】 <ul style="list-style-type: none"> ●いきいき百歳体操にて情報を流す 自治会、一般【2】 ●いきいきサロン、いきいき百歳体操に多くの出席者を要請【2】 	<ul style="list-style-type: none"> ●情報提供の工夫 見てもらえるようなもの読んでもらえる工夫が必要【2】
5	担い手の負担軽減・支援の充実と新たな担い手の確保・育成	<ul style="list-style-type: none"> ★気軽な活動参加【3】 <ul style="list-style-type: none"> ●ゆるーい枠での参加方法を考える【3】 ●楽しく活動していることを伝える【3】 ★地域で勉強会 事業所の参加【3】 <ul style="list-style-type: none"> ●高齢者介護に関する育成（認知症に関すること）【3】 	<ul style="list-style-type: none"> ★地域で勉強会 事業所の参加【3】 <ul style="list-style-type: none"> ●団塊の世代高齢者介護の勉強会（事業所でできる）【3】 ★担い手の確保【3】 <ul style="list-style-type: none"> ●団塊の世代対象の飲み会（イベント）の開催【3】 ●ボランティア活動への楽しみお礼としての形（忘年会補助等）が必要【3】 ●子どもがいなくても子供会に入れるようにする【3】 	<ul style="list-style-type: none"> ★ボランティア活動へのポイント【3】 <ul style="list-style-type: none"> ●いきいき百歳体操の世話役（設営・掃除等）が少ないため持ち回りで「ポイント」を与えてください【3】

米田地区 第3回

各グループの検討結果（抜粋）

※各グループで主な解決策・アイデアのカテゴリの中から2つ以内で具体案を検討

★印は、似た特徴を持つものを集めて分類した見出し 【 】の数字はグループ番号

課題と解決策・アイデアのカテゴリ	具体案		
	自助	共助	公助
1 支援が必要な人の情報の把握・共有に向けた仕組みづくり	<p>★積極的な声かけ【1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●顔が合うと挨拶する【1】 ●まず隣同士の声かけ あいさつ【1】 ●近所での声掛け【1】 ●とにかく誰かによる訪問を重ねること【1】 ●自分から先に声を掛けよう【1】 ●回覧板等の配布物をポストに入れるのではなく、手渡しして情報を交換する【1】 ●ボランティアに行った所で近況確認できた【1】 ●支援を必要とする人に対し積極的に介入する【1】 <p>★個人情報の壁【1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●個人情報のカベ取り払う【1】 ●生命の保護が優先するのでは【1】 ●家族からの発信【5】 ●家族の理解【5】 ●情報源を多く持つ（困っている人間）【5】 	<p>★情報共有の場所づくり【1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地域に根差したカフェの開催【1】 ●地域の人が集まる拠点づくりをしよう。自治会館・画廊【1】 ●地域住民が顔合わせするイベントを多くする。いきいきサロンなど【1】 ●大きな木の下で涼みながら話し合うことができる【1】 ●季節の野菜や果物を届け、外向きの雰囲気を作る【1】 ●隣保単位のお節介活動を盛んにする【1】 ●隣近所レベルのイベントを盛んに行う【1】 ●昔は隣保ごとにバーベキュー大会やカラオケ大会などもやってお互いが良く分かっていた【1】 ●その人に屋外へ導くお節介をする【1】 <p>★個人情報の壁【1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●知られるのをイヤがるところを超える程にお節介をする【1】 <p>★各種団体等のネットワークづくり【1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●活動者にSOSを伝える【1】 ●ゴミ出し手助け【1】 ●地域における各種団体の情報交換の場を作る【1】 ●防災時の手伝い、助け【1】 ●地域が広いので小さく把握できるようにする【1】 ●@提示する【1】 ●デイサービスに行ってしまうと老人がいない【1】 ●情報管理する団体を作る【5】 ●地域ハザードマップを作る（一人暮らし）【5】 ●地域で共有できる情報を管理し、年1回見直す【5】 ●一人暮らしの人の関係【5】 ●各団体が地域事業所 etc 定期的な交流【5】 ●支援が必要な人の情報を掘り下げていく場【5】 ●独居、高齢者世帯を名簿で把握【5】 ●役員相互のつながりを深める【5】 ●交流会を開催する人が把握する【5】 ●民生委員と支援関係の事業所が定期的に交流会を行う【5】 ●掘下げて解決できる会があればと思う【5】 	<ul style="list-style-type: none"> ●SOSネットワークを早急に作る【1】

課題と解決策・アイデアのカテゴリ		具体案		
		自助	共助	公助
2	地域における関係・つきあいの再構築	<p>★あいさつ運動【2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●あいさつ【2】 ●笑顔であいさつする【2】 ●子どものころから積極的にあいさつする習慣付け【2】 ●見知らぬ人にもあいさつする【2】 <p>★自ら行動する【3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●あいさつで知人を作る【3】 ●趣味の合う人を作る【3】 <p>●自治会等行事に積極的に参加する【3】</p> <p>★若い人達へのバトンタッチ【3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●高齢者（元気な）に活躍してもらう【3】 ●若い人達の意見を聞く【3】 ●その為に高齢者が助言と行動をする（時間のある人達）【3】 ●若い人達が助けてくれる循環を作る【3】 ●地域の方に私を知ってもらう【5】 ●犬の散歩しながら地域の人に話しかける【5】 ●情報を自分で集める【5】 	<p>★PR【2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●各種団体の活動内容を住民の方に分かりやすく説明して参加してもらうようにする【2】 ●回覧板を活用して細かな地域の活動内容を皆さんに知ってもらう【2】 ●各事業所の内容等を広く広報等で広告してもらう【2】 ●福祉に関して相談事があるとき相談できる場所を周知する【2】 ●地域の行事を知る【2】 <p>★あいさつ運動【2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地域内であいさつ運動【2】 ●小学校であいさつ運動を展開する【2】 <p>★地域の活動【2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●自治会活動の充実【2】 ●子供会活動の充実（行政の指導）【2】 ●地域の住民が参加できる行事【2】 ●三世代合同の行事、七夕、秋祭り、夏祭り、餅つき【2】 ●自治会・婦人会・老人会で連携して行事を開催する【2】 ●障がいを持った利用者の方が1人で通勤している方もいるので見守っていただけると助かる【2】 ●夏休みラジオ体操行政指導で毎日開催【2】 <p>★交流の場づくり【3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●今日的課題をメインに地域活動団体が構築を図る（災害等自主防災組織の再構築）【3】 ●町内各班毎の集まる場を作る【3】 ●回覧板など地域行事をたくさんの人たちに知ってもらう ●相談できる場所をつくる【3】 ●地域にコミュニティカフェを開設する（公会堂単位）【3】 ●多世代交流の場を作る【3】 ●老人会と子供会との合同行事【3】 ●心まちカフェなどへ出向く仕掛けづくり【5】 ●社協が情報を取りに行く【5】 ●サロンでも楽しい雰囲気をつくる【5】 ●話しかけやすい雰囲気をつくって【5】 ●三世代合同の行事を増やす【5】 ●工場見学などは参加者が多い【5】 ●ウエルネスでモーニング【5】 	<ul style="list-style-type: none"> ●健康相談が気軽にできる「まちの保健室」のような拠点となる（事業所）【2】 ●“健康”に関する情報を発信する（事業所として）【2】 ●地域に開かれた施設づくり ・相談窓口の設置・夏祭り等で地域の方々にも参加して頂く（行事・ボランティア）【2】 ●施設が今の地域との関係作りをしていない。方法が難しい。教えてもらったら嬉しい【2】 <p>★スポーツ振興【2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●高砂球場と陸上競技場の充実 高砂市のPR、目玉となるように!!【2】 ●公会堂（人の集まる場）に専門職に来てもらう【3】 ●市から車を借りればやりやすい【5】

課題と解決策・アイデアのカテゴリ		具体案		
		自助	共助	公助
3	担い手の負担軽減・支援の充実と新たな担い手の確保・育成	<p>★自ら行動する【3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●趣味の輪を広げる【3】 ●男性の方もご近所付き合いを積極的に行う【3】 ●まずは挨拶から【3】 ●家の中にこもらず外へ出て道路の掃除をする【4】 	<p>★交流の場づくり【3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●中・高生の集まれる場を作る【3】 ●一緒に活動することで引き摺り込んでいく【3】 ●人材募集のPRをする【3】 ●地域活動に参加しやすい雰囲気をつくる【3】 ●各人の特徴を把握する【3】 ●隣保単位くらいで民生委員 etc の参加の集まりを持てれば【4】 <p>★若い世代への働きかけ【4】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●新しく来られた方への地域のルール、行事とかの説明、声掛けが必要【4】 ●地域の様子を知る為に自治会回覧等出してはどうか【4】 <p>★民生委員の新しい担い手【4】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●民生委員の活動内容がはっきりしていないので少しでもわかるようにした方がいいと思う（民生委員）【4】 ●複数で働きかける体制があるとよいと思う（民生委員）【4】 ●婦人会に若い人が入会しないのでどうしたらよいか【4】 ●地域でのイベント企画【4】 	<p>★人材育成【3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●リーダー作りに取り組む指導【3】 ●担い手づくりの楽しい講座を開く【3】 ●（事業所として）民生委員（地域の）との小さい区分けの交流会を持つ【4】
4	障がい者との関わりの拡充	<ul style="list-style-type: none"> ●理解できていない部分も多いので、まず、知ることから【4】 ●・各自で...・口コミで拡げる・声かけを！【4】 	<ul style="list-style-type: none"> ●ヘルプカードの理解を広める【4】 ●障がい者団体の集まりに参加しやすい仕組みづくり。広報的な何か【4】 ●地域の目につくところにヘルプカードの説明を張る【4】 ●小学校や公民館で話し合いの機会を【4】 ●地域単位で集まり実際に障がい者の方と話をする機会を・自治会・婦人会・子ども会・民生委員・町ごと【4】 	<ul style="list-style-type: none"> ●広報や新聞で【4】

阿弥陀地区 第3回

各グループの検討結果（抜粋）

※各グループで主な解決策・アイデアのカテゴリの中から2つ以内で具体案を検討

★印は、似た特徴を持つものを集めて分類した見出し 【 】の数字はグループ番号

課題と解決策・アイデアのカテゴリ	具体案		
	自助	共助	公助
1 担い手の負担軽減・支援の充実と新たな担い手の確保・育成	<p>★ゴミ出しのサポート【1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ゴミ出し時に近所の方とあいさつする【1】 ●ゴミ出しの時に会って話をする【1】 ●高齢者のゴミ出しの手伝い【1】 <p>★近所の声かけ【1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●普段から近所づきあいをし、社交的になる【1】 ●一人暮らし高齢者への声かけ【1】 ●近所の人ポストを見て新聞や郵便物が溜まっていないかみる【1】 <p>★イベント参加【1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●老人会の朝のラジオ体操や公園の集りに参加する【1】 ●子供会、老人会等の行事に積極的に参加する【1】 ●地区でのイベントに積極的に参加【1】 ●老人会の活動に参加してみる【1】 ●団体が役割を分担して自主防災計画を作成 自治会、子供会、老人会、民生委員【2】 ●リタイヤ直後の元気な高齢者の趣味の会づくり【2】 ●サロン協力者に小遣いが出せる仕組みづくり サロン出席者がワンコイン出費【2】 ●各個人の得意分野で役を担ってもらう【2】 ●活動の経験を通じてそれぞれの立場が理解できるかと【2】 ●なるべく自分ができる事はさせてもらう【2】 	<p>★話し合いの場【1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●役員の負担軽減するためマニュアル作り役割の簡素化を図る【1】 ●民生委員さんの役割をもっと詳しく知る【1】 ●自治会の役員会で話し合うこと【1】 <p>★相談体制【1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●老人会、会長さんと顔見知りになる何でも相談しやすい間になる【1】 ●民生委員さんと顔見知りになり何でも相談しやすい間になる【1】 <p>★集りの実施【1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●食事会をしたり、いきいき百歳体操とかしている【1】 <p>★負担の分散【1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地域の人の協力が少ない【1】 ●役員ばかり負担が多い【1】 ●子どもの見守りの負担 協力が少ない【1】 ●若い方々に積極的に参加してもらえよう声かけ ●分担ができない【2】 ●1人の役員に集中している【2】 ●みんなが分担して業務する【2】 ●活動が活発な地区の状況を他の地区にも反映できる【2】 ●老人会、婦人会、子供会が集まる会をつくる【2】 ●交流会をもつ（VO、社協、ケアマネ）会同士つながり【2】 ●民生委員等の地域住人とケアマネとの交流会（地域の詳細な実状を確認）発展に向けて【2】 ●個人では無理!!会を中心に動くことがよい【2】 ●住民が言いやすい場所を設ける【2】 ●行事や役員に参加、接する機会を持つ【2】 ●役員の人だけにまかせず全員参加型にする【2】 ●全員が何らかの役割を持つ【2】 ●活動に出る人は決まっておらず担い手にならない【2】 ●小さいグループを作り全体として動いていく【2】 ●皆さんに役に担ってもらえる様普段からの信頼関係【2】 	<ul style="list-style-type: none"> ●老人会の加入率は21%しかない。行政においても加入促進広報ができないものか ●老人会ではパソコンができないと会長職が困難との風潮がある。行政においてパソコン教室など支援できないか 会長の仕事を分担

課題と解決策・アイデアのカテゴリ		具体案		
		自助	共助	公助
2	交通手段・移動支援の確保	<ul style="list-style-type: none"> ★有償ボランティア【1】 <ul style="list-style-type: none"> ●ボランティアに依頼難しい【1】 ●無料で送迎などするボランティア等を調べる【1】 ★家族の支援【1】 <ul style="list-style-type: none"> ●家族に外出支援の協力を依頼する【1】 ●ボランティアに依頼する【3】 ●買物など乗り合いで声かけ合う【3】 	<ul style="list-style-type: none"> ★お助け隊【1】 <ul style="list-style-type: none"> ●シルバー人材→お助け隊【1】 ★乗り合いバス・タクシー【1】 <ul style="list-style-type: none"> ●乗り合いタクシーを企画してもらう【1】 ●乗り合いバスが必要【1】 ★送迎サービス【1】 <ul style="list-style-type: none"> ●福祉車両の送迎サービスを行う【1】 ●送迎ボランティアを登録制とし（事前講習必要）事務局で車の手配（連絡等）等行う【1】 ★重い荷物のサポート【1】 <ul style="list-style-type: none"> ●重い荷物の運ぶサポートを整える【1】 ●近所の人を搬送する【3】 ●送迎時の事故補償が確立【3】 ●運転ボランティアをつける【3】 ●ボランティアの募集【3】 ●ボランティアができる住民の把握【3】 ●近所のお年寄りには病院や美容院には送りますよと声かけしています【3】 	<ul style="list-style-type: none"> ★バスのルート <ul style="list-style-type: none"> ●じょうとんバスの路線変更 ●じょうとんバスのルート見直し増便 ●市民病院の行きのバスの路線を作る ●2号線を通るバスの停留所を設ける ★バスの本数 <ul style="list-style-type: none"> ●バスの回数が少ない【1】 ●乗る時間がない【1】 ●バスの本数を増やす【1】 ●路線の変更と時間を多くして欲しい【1】 ★バスの小型化【1】 <ul style="list-style-type: none"> ●バスを小型化する【1】 ★市の補助でのバスサービス【1】 <ul style="list-style-type: none"> ●市が福祉車両の送迎サービスの費用補助をする【1】 ●じょうとんバス増→診察時間に合わせる（13～16は少ない）【3】 ●市で頑張ってもらおうじょうとんバス【3】 ●タクシー券を発券【3】 ●交通手段を課題としている住民の把握【3】

課題と解決策・アイデアのカテゴリ		具体案		
		自助	共助	公助
3	地域における関係・つきあいの再構築および支援者と支援が必要な人のコミュニケーションの促進	<p>★あいさつ【2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●顔を会わした時に声をかけ近況を尋ねる【2】 ●近所・近辺の状況を気にかけるよう心掛ける【2】 ●あいさつ運動の実施【2】 ●毎朝の声かけ【2】 ●ラジオ体操に参加する【5】 ●まずはあいさつ【5】 ●誰にでもあいさつをする【5】 ●積極的な自分を発見しよう【5】 ●なかよし会に（北池福祉委員）参加する【5】 ●あれ？と思ったら臆せず声をかける【5】 	<p>★行事の知らせ方【2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●掲示板 現在3つ→数を増やす【2】 ●イベント1週間程前に回覧版を回す（早すぎる）掲示板にイベントを知らせる【2】 ●活動（サロンなど）の写真を拡大して活動場所に貼り出す【2】 ●行事の予定表を毎月変えていく【2】 <p>★みんなが参加できる【2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●自治会や福祉が協力して池のかいぼり等の大規模なイベントを行うと若い世帯も集まる【2】 ●支援が必要な人が参加したいと思うような魅力ある計画、魅力あるアピール【2】 ●プライベートな付き合いでつながりを作る【2】 ●上の役員、一部の人がイベントに参加する（例えばいきいきサロンなど婦人会など他の団体が手伝いに来てくれる）【2】 ●歩くイベント 歴史、ため池説明子どもから大人まで 市と自治会【2】 ●人に会うこと 会う場所 いきいき百歳体操後の手芸【2】 ●手伝える事はないか気に掛け声をかける【2】 ●各団体などの活動を気に掛ける【2】 ●大きなイベントより人に会う機会を作る【2】 ●最近世代交流事業で少子化で子供会組織のない地区がある。これの育成強化ができないか。世代交流事業の復活【2】 ●井戸端会議を再確認【5】 ●小イベント 地区のイベントへの参加できるだけ小さいグループ まずは！【5】 ●茶話会を定期的に関催する【5】 ●いきいき百歳体操を細分化する【5】 ●ラジオ体操開催【5】 ●地区ごとの交流会（茶話会など）の定期的開催【5】 ●参加の意志のある方への声かけ運動の実施【5】 ●楽しいボランティアグループをゲストに呼ぶ【5】 ●居場所づくり 週に1～2回できれば毎日でも【5】 ●いつでも自由に誰もが参加できる交流会、お茶会をしましょう【5】 ●自治会全体の色々大会、行事において景品抽選会を行う【5】 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域の方と一緒に施設の防災訓練を行ってみたい【2】 ●高齢者の方が孤立しないよう地域団体の方と定期的に話し合える機会を持ちたい【2】 ●防災無線でラジオ体操を全市【5】 ●ラジオ体操ににこにこポイントを付ける【5】 ●地域の清掃 ゴミステーションでにこにこポイントを【5】 ●自治会館の利用【5】 ●市は補助金で応援を【5】

課題と解決策・アイデアのカテゴリ		具体案		
		自助	共助	公助
4	地域の各種団体間の連携の促進	<p>★近所の住民が分からない→近所付き合い見守り【4】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●新しく入ってきた人のつながり子どもが分からない【4】 ●積極的なあいさつ運動 あった人にはあいさつを【4】 ●見守りを兼ねた犬の散歩やウォーキングの奨励【4】 <p>★行事の参加【4】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●自治会行事に参加する【4】 	<ul style="list-style-type: none"> ●町内全体での見守り(子どもから高齢者の見守り)【4】 <p>★いきいき百歳体操後の活用【4】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●いきいき百歳体操後の時間に話をする場を設ける(モーニング)【4】 ●いきいき百歳体操男性の人の参加が少ない【4】 ●いきいき百歳体操終わればすぐ帰る【4】 <p>★各団体の連携強化一緒に活動を行う【4】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●各団体が集まって何ができるかワークショップ【4】 ●顔を合わせる場が必要【4】 ●各種団体のリーダーとコミュニケーションを図る【4】 ●各団体間の話し合い・助け合いの場を持ちたい【4】 ●各種団体の連携話せる場が少ない【4】 ●各種団体の連携 其々独自活動をしている【4】 ●夏休みの間はラジオ体操を一緒にする子供会、老人会など【4】 ●行事に参加してもらえるような工夫いろんな団体が集まれる場を作る(ラジオ体操)【4】 ●町内イベントの計画実践の役割りの一部を引き受ける【4】 ●町内会での運動会やお花見会、夏祭り【4】 ●あじさい音楽会(6月)(魚橋南)小学校、カラオケ音楽好きの人が集まる(今年で3年目)つなぐ手と手(図書館とコラボ)サークル、他の団体の紹介【4】 <p>★集いの場を設ける【4】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●コミュニティカフェ小さな単位でのちょっと一息カフェ【4】 ●認知症カフェへの案内【4】 ●井戸端会議 個人の意見の吸い取りを行う【4】 ●集い、サロンへの参加 地域の実状を語り合う場にする【4】 <p>★各種団体の役割について明確化【4】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●民生委員の役割 どんな事をしているのか分かるようにする。顔の見える関係【4】 	<p>★情報発信【4】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●公民館等での町内インフォメーションコーナーの設置【4】 <p>★場所の確保【4】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●場所の提供(無料で使える)【4】

北浜地区 第3回

各グループの検討結果（抜粋）

※各グループで主な解決策・アイデアのカテゴリの中から2つ以内で具体案を検討

★印は、似た特徴を持つものを集めて分類した見出し 【 】の数字はグループ番号

課題と解決策・アイデアのカテゴリ	具体案		
	自助	共助	公助
1 身近で交流できる場（拠点）づくり	<p>★広報に関して【1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●近所の人を口コミで誘う【1】 ●声掛け【1】 ●横のつながりが大切【1】 ●NPO拠点づくり【1】 ●子ども会【1】 ●サロンの参加者を増やす【1】 ●毎週サロンを開催 70歳以上は無料（年8回）【1】 ●祭で人が集まる【1】 ●ラジオ体操を活用する【1】 ●ラジオ体操 10回でモーニング無料【1】 ●世話役する人を作る【1】 ●リーダーの負担が大きい【1】 ●回覧板を手渡しする【2】 <p>★あいさつ【3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●日ごろからの近所づき合い声かけ運動【3】 ●あいさつ運動から始める 井戸端会議【3】 ●声かけ ひとり暮らしの方【3】 ●近隣の人がさそう【3】 ●自分の得意なことを地域役員に提供する【4】 	<p>★広報に関して【1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●町内放送で呼び掛ける【1】 ●案内を配布【1】 <p>★自治会喫茶【1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●開催場所は、自治会館 平均70人位【1】 ●場所の提供（自治会館）【1】 ●喫茶室は季節の花を飾る（各テーブルに）【1】 ●集まれる機会はたくさんある【1】 ●地区で喫茶を開く自治会、民生委員、福祉委員で計画する。老人会【1】 <p>★世話人の役割【1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●担い手づくり【1】 ●老人会が活発【1】 ●ボランティア拠点づくり【1】 ●世代交流もする【1】 ●いきいき百歳体操【1】 <p>★行事の活用【2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●隣保の掃除当番【2】 ●隣保毎に（拠点）を利用して定期的に集り今の問題を話し合う【2】 ●北浜地区5地区（西浜、北脇、牛谷団地、牛谷、牛谷東）を交流することは困難で最初は2つに分けて始める【2】 ●祭り等父親の強制参加【2】 ●親同士だけでなく子どもも集まれるような【2】 ●週1回ぐらい会館開放日を作る【2】 ●若い家族・高齢家族の交流の場が（買い物の店などで自然に話すとなればよい）【2】 ●2週間に1回誰でも参加OK【2】 ●公民館でモーニング（月1回）【2】 ●集会所の利用【2】 ●いきいき百歳体操の活用【2】 ●施設での交流の場【2】 <p>★楽しい場づくり【3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●コーヒーコーナー空き室を利用した（自治会館）いきいきサロンの回数を増やす【3】 ●たまりの場に子どもにも参加→家族も参加【3】 <p>★箱物を利用する【3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地域でたまり場となる飲食店等を整備する【3】 ●施設体験 食事・入浴・各種行事の招待【3】 ●専門職への相談日を作る【3】 	<p>★世話人の役割【1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●リーダーの養成【1】 ●助成金（社協）【1】 ●講師の派遣（世話人がない）【1】 ●山（日笠山）越えが大変【2】 ●集まれる場所が北の方にしかない【3】 ●町の中心部での交流の場所【3】 ●参加費募集案内配布【3】 <p>★施設の催し【4】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●夏祭り等への招待・送迎付き（施設から）【4】 ●勉強会の積極的な開催【4】 ●施設の部屋を使い地域施設の人が交流する会を催す【4】

課題と解決策・アイデアのカテゴリ		具体案		
		自助	共助	公助
1	身近で交流できる場(拠点)づくり		<p>★いきいきサロン・にじの会・高齢者のつどい【4】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●空いている建物で自治会・老人会・子供会・施設など“協同で”北浜喫茶を開催【4】 ●月1回いきいきサロン自治会主催でしている 朝の放送でつどい【4】 <p>★参加者【4】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●子どもの日は子ども参加費無料【4】 ●にじの会(牛谷東)3か月に1回 ケーキとコーヒー無料で(参加者)お互いに声を掛け合う65歳以上だけど60歳でもOK【4】 ●高齢者の集いいきいき百歳体操週1回【4】 ●月2回いきいきサロンの集り【4】 ●敬老の日は75歳以上の人は参加費無料【4】 ●近所で誘いあう【4】 ●地域全体の参加はOK年齢関係なし【4】 ●親子・夫婦で参加 男性も来ている【4】 <p>★役員・世話人【4】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●民生・福祉関係なく世話役がいる→自治会役員の妻【4】 ●女性の(役員の妻)つながり【4】 ●自治会、老人会で女性の役員を作る【4】 ●内容の工夫を世話人が話し合う【4】 ●世代を越えた行事を催し顔を会わす機会作る【4】 ●三世代交流【4】 	
2	買い物弱者への支援	<ul style="list-style-type: none"> ●自分が買い物に行くついでに1戸担当して一緒に買い物を聞く【2】 ●ネットの利用【2】 ●近所で関係作れてたら友人・知人が交通面支援【3】 	<p>★買い物グループ【2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●自身も買い物に行けないことを率直に公開してもらおう【2】 ●週一回ぐらいの買い物グループを作る【2】 ●買い物ツアー【2】 ●福祉委員がグループを作って買い物に行く【2】 ●定期便の設定(週2回程度のボランティア便)【2】 ●牛谷地区は最近7月にコンビニが出来て便利になりました(天川公園東)【2】 ●周知する(便利な方法を)【2】 ●買い物弱者の情報をつかむ【2】 <p>★みんなで参加【3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●福祉活動への参加【3】 ●地域での活動参加を【3】 ●足の確保?誰が!【3】 	<ul style="list-style-type: none"> ●介護保険サービスが受けられるようにする(地域と福祉のつながり)【2】 <p>★足の整備【3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●乗り合いタクシーネットで予約【3】 ●じょうとんバス少ない【3】 ●宅配【3】

課題と解決策・アイデアのカテゴリ		具体案		
		自助	共助	公助
3	参加者の偏りの解消と新規参加者の獲得		<ul style="list-style-type: none"> ★自治会と老人会での企画【4】 <ul style="list-style-type: none"> ●老人会の活動を活発になるよう事業企画【4】 ★自治会と施設の協力【4】 <ul style="list-style-type: none"> ●ポイント制導入 北浜地区オリジナル【4】 ●どのような行事に参加したいのか？（アンケート）【4】 ●回覧板につける 自治会に協力を得る【4】 ●行事のアピール方法を工夫する【4】 ●行事の内容のピーアール【4】 ●北脇の町内放送が聞こえない【4】 ●町内行事の把握【4】 ●〇〇自治会・老人会ポイント【4】 ★隣保単位で取り組み【4】 <ul style="list-style-type: none"> ●隣保内の問題把握【4】 ●隣保単位で新たな取り組み【4】 ●身近な問題点（悩み）を拾い上げるように地域役員が目を光らせる【4】 ●認知症の人がいなくなった時は？【4】 ●隣保内での交流の場【4】 ●問題共有の場が欲しい【4】 ●お隣との誘いあい【4】 	<ul style="list-style-type: none"> ●市、社協の資料（道具類）を利用・活用して参加者を増やす【4】 ●警察の町人への声かけ【4】

